

# TEKU TEKU 太田川

第20号  
2021  
令和3年3月1日  
発行部数 132,000部



撮影：大石佳典

## 特集 太田川河口



▲ 棧橋に設置されている排砂管やジェットポンプ

▲ 浅羽海岸では、防護上最低30mの浜幅を確保するという目標があります。サンドバイパスシステム運転前は汀線が全体的に後退していましたが、運転後は汀線が維持されており、必要浜幅も確保できています。



### 大人の社会科見学



### 太田川河口部の海に伸びる棧橋

袋井土木事務所 河川改良課 工事課



中野浩道

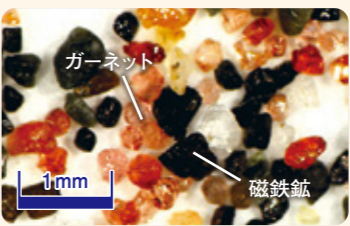
太田川は、水源を森町の大日山(881m)に発し、谷間を蛇行しながら、途中、三倉川、瀬入川と合流します。さらに南下して、磐田市で敷地川、袋井市浅羽で原野谷川、河口付近でほう僧川と合流し、遠州灘に注ぐ二級河川です。源流からいくつもの川と合流し、さまざまな生き物とかわり合いながら海に向かう太田川の、長い旅の終着点である河口は、一体どうなっているのだろう。そんな思いから河口周辺を探索してみました。そこには、人の命と自然を守るため河口の砂と格闘する、人間の知恵の産物がありました。

第8回 青島晃の地質学講座  
磐城南高等学校講師 青島晃

### サンドバイパスの砂の起源

サンドバイパスで掘られている砂は、どこから運ばれてきたのでしょうか？

写真はサンドバイパスの近くの福田海岸の砂の顕微鏡写真です。白い粒は斜長石、透明でガラス状の粒は石英、黒くてキラキラ輝く粒は磁鉄鉱、ピンクやオレンジでガラス状の粒はガーネットです。特に重いガーネットや磁鉄鉱は波打ち際に集まり易く、この砂にはこれらの鉱物がたくさん含まれていることから、「ガーネットサンド」と名付けられています。この砂に含まれるガーネットは小さな粒ですが、大きくて透明なものは宝石になり、1月の誕生石としても有名です。そして、この「ガーネットサンド」が見つかる海岸は、日本では福田海岸以外に数カ所しか知られていません。



▲ ガーネットサンド(福田海岸で採取)

このガーネットの産地を色や形、化学成分をもとに調べてみると、天竜川上流の長野県南部や愛知県東部の花こう岩であることがわかりました。また、黒くてキラキラしている磁鉄鉱は、太田川上流から運ばれてきたものもありますが、多くが天竜川支流の阿多古川の蛇紋岩や、かんらん岩などの緑色岩類に含まれている磁鉄鉱であることがわかりました。

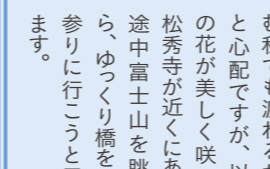


### 新しい和口橋が令和3年3月完成!



▲ 令和3年2月現在

河道を広げる河川改修は、川に生息する生物にやさしい「多自然川づくり」で行われました。河川改修に伴い架け替えられた新しい和口橋は、自転車歩行者道となつたので、散歩やサイクリングには気持ちの良い場所になると思っています。また、橋からは富士山を望むことができます。ぜひ生まれ変わった和口橋を渡ってみてください!



袋井土木事務所 河川改良課 小長谷 章

旧和口橋は、洪水に対し河川の流れを阻害する恐れがありました。しかし新しい和口橋が出来上がる前に、令和元年の7月豪雨で橋げたが一部崩落し、通行止めになってしまいました。そのおおよそ1年後、待ちに待った新しい和口橋は全長473m、幅3mの自転車歩行者専用道路として、令和3年(2021)3月に開通します。



▲ ありがとう、旧和口橋

長い橋なので若い進む私でも渡れるだろうかと心配ですが、以前ハスの花が美しく咲いていた松秀寺が近くにあるので、途中富士山を眺めながら、ゆつくり橋を渡り、お参りに行くことと思っています。



### 和口橋を渡って



安間美恵子

建設ICTに積極的に取り組んでいます!!  
昨今、建設業界は若者就労率が低く、就業年齢層が高いという現状があります。担い手が少ない中で、「どう技術を継承していくのか?」「経験が少ない若い人も、ベテラン職員と同じスキルを求められる」といった問題が起きています。そこで機械の力を借りて、「少ない人数でも同じようなことが出来る」、「経験が浅く判断できないことは機械に判断を委ねる」という事を行っているのが建設ICTです。ドローンやレーザースキャナによる測量、決められた深さより余分にアームが動かなくなるバックホウによる施工等で活用され、静岡県では「河道掘削」工事で建設ICTが多く採用されています。しかし、器具や機械が進化しても使いこなせなければ本末転倒です。



▲ 勉強会の開催



▲ 建設ICTの実演

そこで建設業界では、知識や技術の習得のために勉強会を開催し、さらに生徒や学生にインターシップにより実際に建設ICTに触れさせる事もしています。このように建設業者は、若者へのPRを行いながら、新しいシステム構築に積極的に取り組んでいます。



武藤君幸

### 2021てくてく太田川ものしりクイズ

図書カードが当たる!!

サンドバイパスシステムが運ぶものは何でしょう?  
①車 ②砂 ③カニ

正解を応募いただいた方の中から図書カード3,000円分を抽選で10名の方にプレゼント!ふるって応募ください!

【応募方法】電子メール、FAX、官製ハガキのいずれかの方法で、必要記載事項をご記入のうえ応募してください。応募先は、右記の静岡県袋井土木事務所 河川改良課「ものしりクイズ応募係」まで

【必要記載事項】①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦第20号を読んで新たな発見や感想等

【応募締切】2021年5月31日 当日消印有効

【当選発表】当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

編集局員を募集しています!  
編集会議では、新しい出会いや知識共有の場を提供します!!



ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報や、感動的な写真もあわせて募集します。太田川情報編集局事務局まで。

発行日 2021年3月1日  
発行所 静岡県袋井土木事務所  
〒437-0042 袋井市山名町2番1号  
TEL 0538-42-3289 FAX 0538-43-0919  
E-mail:fukudo-kasen@pref.shizuoka.lg.jp  
URL:http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/

編集 太田川情報編集局 袋井土木事務所 河川改良課内  
編集局員 磐田市 青島 晃 安間美恵子 大石佳典  
袋井市 浅羽俊光 小長谷章 鈴木敦子 鈴木泰平 望月一弘 門名親宏  
掛川市 安藤凱夫 伊東 良 鈴木健太 野中大輔 武藤君幸 森 町 岡庭 彩 辻 克美

ブログ・Facebook もやっています!!

てくてく太田川 検索



# サンドバイパス システム

Sand Bypass System

土砂が混ざった海水を棧橋に固定したジェットポンプで吸い込み、排砂管を通して侵食された海岸に吐き出すことで、沿岸漂砂となって海岸を保全する仕組みです。河口から浅羽海岸へ年間8万立方メートルの砂を移送することを目標としています。



袋井土木事務所 工事課 中野副班長

治水のためのダムや、津波・大波から人々を守る防波堤は必要です。しかし一方で、川が運ぶ砂が少なくなったり、河口に溜った砂が波によって海岸には運ばれなくなるのを阻害してしまうことがあります。海岸の砂が少なくなれば、波浪による侵食が進み、浸水被害が増したり、動植物の生育環境を奪うことになります。

“自然を守りたい、命も守りたい。”

それぞれの立場で調整しながら、様々な工事を進めていければと考えています。

遠州灘の海岸を守るために世界最先端技術のサンドバイパスを構築するんです！経過を長い目で見守ってほしいと思います。

遠州灘ではアカウミガメの上陸・産卵が見られます。

PICK UP 守りたい自然



編集局員 青島 晃

PICK UP 砂と一緒に吸い上げられたゴミの山



吸い上げられた砂の中には、空き缶やビニールだけでなく、時にはカニも入ってくる

コストが安く環境にやさしい活動に拍手を送るとともに、海に流れ出したゴミの山を目にして心が痛みました。

編集局員 安間美恵子

## 砂はどのように運ばれてゆくのか？



- ① 太田川
- ② ぼろ川
- ③ 今ノ浦川
- ④ 古川
- ⑤ 倉吉川
- ⑥ 磐田久保川
- ⑦ 半ノ池川
- ⑧ 安久路川
- ⑨ 田ほろ川
- ⑩ 祝川
- ⑪ 磐田中川
- ⑫ 原野谷川
- ⑬ 磐田川
- ⑭ 小笠川
- ⑮ 法多川
- ⑯ 宇刈川
- ⑰ 沖之川
- ⑱ 逆川
- ⑲ 馬込川
- ⑳ 垂木川
- ㉑ 家代川
- ㉒ 西山川
- ㉓ 海老名川
- ㉔ 倉真川
- ㉕ 初馬川
- ㉖ 掛川ノ谷川
- ㉗ 掛川戸沢川
- ㉘ 神代川
- ㉙ 海老名川
- ㉚ 西之谷川
- ㉛ 敷地川
- ㉜ 小敷川
- ㉝ 中沢川
- ㉞ 宮川
- ㉟ 伏間川
- ㊱ 瀬入川
- ㊲ 三倉川
- ㊳ 葛布川
- ㊴ 大府川

### 水陸両用ブルドーザ

現在、袋井土木事務所では太田川水系の河川で、川の流れを良くするために、河底を浚って土砂を取り去る浚渫工事を進めています。その中で、少し変わった重機があります。それは水陸両用ブルドーザです。最大水深7メートルまで潜って作業ができます。



袋井土木事務所 河川改良課 望月一弘



川から姿を現す水陸両用ブルドーザ

「ネシー?」太田川に突如現れた「オシー?」って、日本に五台しかないリモコン操作水陸両用ブルドーザが川から上がって来る様子は大人でもワクワク。十年キャリアの技術者はゲーム機を扱うように自由自在に大きな重機を操り、大人のロマンさえ感じました。

編集局員 鈴木敦子



## 水のないダム



安藤 凱夫

太田川の支流の中で一番長い川が袋井市と掛川市を流れる原野谷川です。その川の上流部の原野谷川に普段貯水のないダム、原野谷ダムがあります。ダムといったら本来は満々と水を貯えるのが一般的。しかし原野谷ダムは過去に下流域の田畑が豪雨による氾濫の災害に見舞われ、それを防ぐ防災ダムとして昭和44年(1969)に建設された防災ダムです。したがって、洪水を防ぐ防災ダムなので普段は水がないが普通の状態です。写真はダムの上流側ですが、貯水はなく赤いフェンスに囲まれた底部の排水ゲートが3本見えるだけです。ダムの内側の底が見られる珍しい風景ですから一度訪ねてみてください。



▲アッ!ダムに水がない



## 事任八幡宮



鈴木 健太

掛川市を流れる逆川上流には、パワースポットとしても知られている事任八幡宮があります。この主祭神は己等乃麻知比売命(コトノマチヒメノミコト)と言って言霊の神様の后神様です。元々は旧国道1号の北側にある本宮山に祀られていました。今の地に遷座したのは今から千二百年ほど前。己等乃麻知神社として知られるようになっていきました。その後、主祭神は八幡神に代わり神社の名前も変わってしまったのです。己等乃麻知比売命はひっそりと祀られていました。でも平成11年に、再び主祭神へ。ここを訪れる際は「言の葉」を結び神の事をそっと感じて祈ってみてはいかがでしょうか。



▲事任八幡宮



## 久野城址と遊水地



大石 佳典

何気なくSNSを閲覧していると、ある友人の投稿が目にとまった。記事には袋井市鷺巣に城があったと書かれており、友人に連絡すると久野城のパンフレットが送られてきた。早速出かけてみると、こんもりとした山が目に入ったが城跡には見えず、駐車場に車を止めるとトイレの脇にパンフレットが置かれていた。整備された道を登ると間もなく本丸跡に着いた。そこから四方を眺めてみたが全体像を確認できなかった。その後空撮をすることにしました。空撮した写真を見ると小さい城だが戦国時代に活躍した城なので外堀に囲まれていることがよくわかった。この城址は久野城址保存会が草刈りなどの整備をして大切に保存してくれている。現在、城址の南側には地形を利用した遊水地の工事が始まった。遊水地から眺める久野城址はどのように見えるのか完成が楽しみです。



▲空から見る久野城址



## ふんわり毛のハサミ



辻 克美

よく間違われますが、モズクではなくモクスズガニです。太田川の中流域で捕まえました。この辺ではズガニと呼ばれています。水の中ではふんわりしていますが、水から出るとベタツとして肌触りの良い毛並で触りたくなります。ハサミなので挟まれたら…痛いです。なぜハサミに毛が?一説には猿蟹合戦で猿から力キを奪い巣穴に逃げ込んだ蟹に腹を立てた猿が巣穴めがけて糞をしようとお尻を向けたとき蟹が巣穴の毛を切った事から、猿のお尻に毛がなくなり蟹の鉄に毛が付いたとか…そんな事を思い出して晩秋に産卵の為川を下るモクスズガニを探してみたいかです。



▲ハサミの毛をごらんあれ!



## 一般県道 浜松御前崎自転車道線



鈴木 敦子

太田川の河口から東西の太平洋の海岸線沿いに自転車道があるのを「ご存じですか。」「一般県道浜松御前崎自転車道線(路線番号4376号)」れっきとした県道です。太平洋に面した天竜川河口の竜洋水門から国道150号浜岡ICまでの総延長39.477mで、海岸は竜洋→磐田→福田→浅羽→大須賀→大浜→浜岡と繋がり、管内の県道では一番の長さです。



▲浅羽海岸から西を望む

最近ではなかなか海岸に出かける機会ありませんでしたが、良い天気誘われて久しぶりに同笠海岸(浅羽海岸)に出かけてみました。さわやかな風を受け、屋下ガリの海は、波が煌めき明るくて穏やかでした。サイクリングにはもってこいのロケーションです。もちろん散歩にもお勧めです。今年予定されているオリンピックの自転車競技は、伊豆が舞台です。海岸線の車の通らない県道を自転車道で風をきって走ってみませんか。



## 命山



野中 大輔

命山とは、江戸時代に高潮から村人の身を守るために避難場所としてつくられた築山で、今も大野地区と中新田地区に残っています。袋井市では、先人の知恵に学び、東日本大震災をきっかけに、平成の命山として新たに4カ所を整備しました。なんと、この命山の一部には太田川の掘削土砂が利用されています。地上高は海拔10m、4カ所でおよそ2,300人もの収容能力あり、ふだんは公園として利用されています。山頂からの眺望がなかなかなので、思わずやってみます「命!」(笑)



▲命山で「命!」